

1 国道6号 小美玉道路(仮称)とは

- ◆国道6号は、東京から宮城までの常磐地域の骨格となる重要な幹線道路です。
- ◆小美玉市周辺区間は2車線（片側1車線）道路となっており、多くの課題があります。
- ◆小美玉道路（仮称）は、当該地域の南北方向の移動性や空港へのアクセス性を高め、経済活動や救急活動を支える道路として期待されています。
- ◆現在事業中の千代田石岡バイパスと茨城町バイパスとを結ぶ延長約10.0kmの幹線道路です。



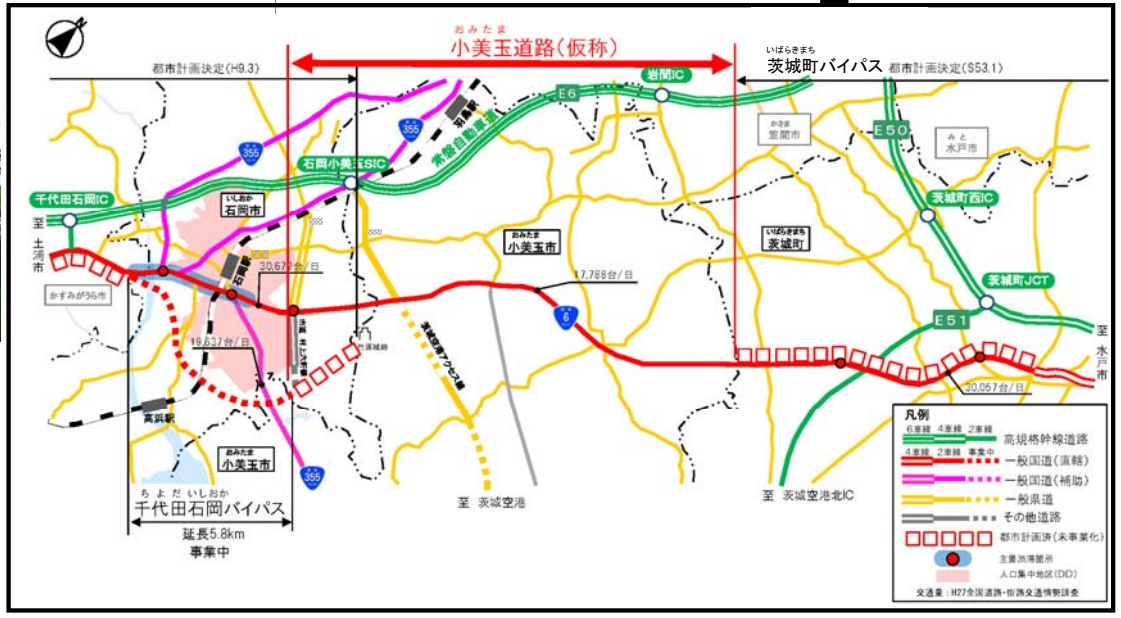
計画諸元(案)

路線	国道6号
延長	10.0km
車線数	4車線
規格	3種1級(80km/h)

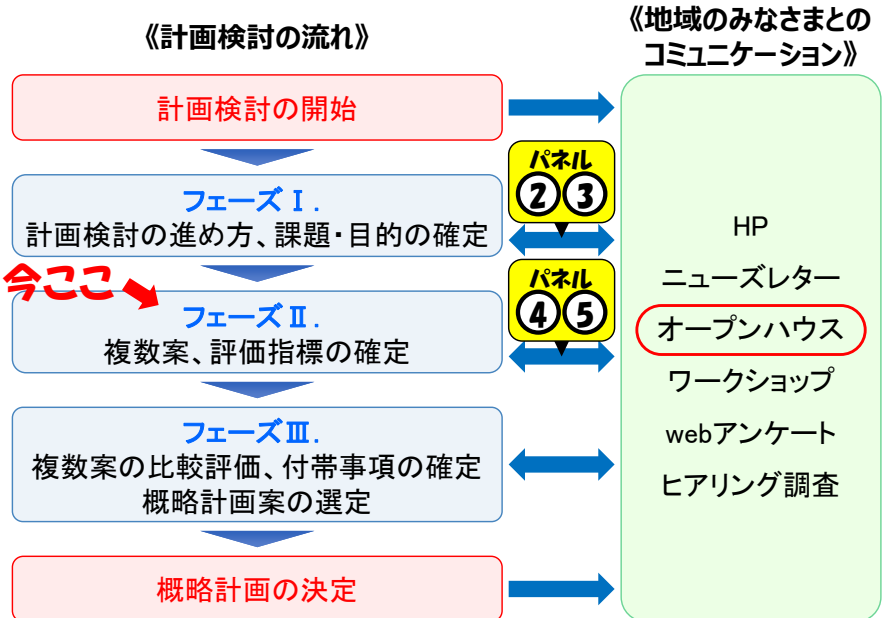
幅員構成(案) (単位: mm)

28250									
5000	1250	15750				1250	5000		
2500	2500	3500	3500	1250	250	3500	3500	2500	2500
歩道	自転車道	路肩	車線	車線	中央帯	車線	車線	路肩	自転車道

国道6号現道の状況



段階的に計画検討を進めています



- ◆国道6号小美玉道路(仮称)の検討は、令和3年3月にスタートしました。
- ◆フェーズⅠでは、様々なコミュニケーションを通して地域のみなさまから多くのご意見をいただき、ご意見に基づいてとりまとめた「計画検討の進め方」と「課題・目的」の案について、地元検討会（令和3年12月7日開催）において確認しました。
- ◆現在は、小美玉道路(仮称)の比較対象となる複数案（ルート帯や主たる構造など）や評価指標を考える段階（フェーズⅡ）に移行しています。

2 地域のみなさまから多くのご意見をいただきました

ご報告

フェーズ1におけるコミュニケーション活動

意見聴取方法	実施箇所・実施期間等
Webアンケート	・令和3年4月13日(火)～6月30日(水)
オープンハウス	①小美玉市役所 令和3年6月24日(木) ④ウェルサイト石岡 令和3年6月26日(土) ②石岡市役所 令和3年6月22日(火) ⑤空のえきそ・ら・ら 1回目 令和3年6月20日(日) ③茨城町役場 令和3年6月23日(水) 2回目 令和3年6月27日(日)
ワークショップ	・小美玉市美野里公民館 令和3年7月11日(日) 13:30～16:00
企業ヒアリング	・経済産業、運輸物流、医療教育の視点から選定した48社に電話連絡のうえアンケート票を送付。 ・回答後、必要に応じて電話による追加ヒアリングを実施。 令和3年6月16日(水)～7月2日(金)

みなさまからのご意見を「意見要旨」として整理しました

※ご意見総数：約2,500件（同じ主旨の意見は同じ意見要旨として集約し、意見数の多寡ではなく、少数であっても異なる意見はひとつの「意見要旨」として整理しています）

「計画検討の進め方」に関する「意見要旨」

1. 情報の提示

- 1)なぜ、小美玉道路の計画に着手するのか説明して欲しい
- 2)混雑していない区間も含まれているなど、なぜこの区間なのかについて疑問がある
- 3)国道6号はどれだけ混雑しているのか、混雑の実態を客観的に評価する必要がある
- 4)資料を分かりやすくして欲しい
- 5)検討の状況や予定を示して欲しい
- 6)計画に関わる情報を広く伝えることが必要である
- 7)ワークショップ等を開催して意見を聞く進め方はよいと思うが、検討の状況や予定は地元知らせておくべきだ

2. 意見の扱い・決め方

- 1)意見が反映されるのか不安だ
- 2)意見を聞くことは大切だが、決める時はしっかり決めて欲しい
- 3)国県市町で連携して進めて欲しい

3. コミュニケーション

- 1)意見を聞きながら計画検討を進めることは良いと思う、地域の意見を取り入れて円満に進めて欲しい
- 2)利用者、若者、高齢の方、反対する人や専門家など、コミュニケーションの対象者やコミュニケーションの方法を充実して欲しい

4. 概略計画案の選定方法

- 1)計画の検討ではコストがどのように配慮されるのか
- 2)計画は生活環境や渋滞緩和の効果なども含め多様な観点から検討して欲しい
- 3)いろいろな代替案を検討して欲しい
- 4)計画の具体的な内容について検討を進めて欲しい
- 5)高齢者や高齢化社会を踏まえた道路となることを期待している

5. 事業段階の配慮

- 1)整備にあたって計画的に考えて進めて欲しい
- 2)用地買収では透明性を確保して欲しい
- 3)残地がでないように配慮して欲しい
- 4)供用までの期間が長期化しないよう進めて欲しい
- 5)道路整備にあたっては効率的に事業を進めて欲しい
- 6)用地の確保が難しいことを想定して事業を進めて欲しい
- 7)工事中の渋滞や騒音などの影響が心配だ

「課題・目的」に関する「意見要旨」

1. 移動性

- 1)渋滞が激しい区間もあるが、区間によってはそれほどでもない
- 2)国道6号は混雑がひどく困っており、慢性的な渋滞が解消されることを期待している
- 3)バイパスとする場合は国道6号現道との分合流が円滑にできるようにして欲しい

2. 信頼性

- 1)渋滞が激しく時間が読めない国道6号を避け迂回することがある
- 2)国道6号は渋滞のイメージがあり、早めに出たり、迂回してしまう
- 3)渋滞が解消されることで、高速道路や他の道路に迂回しなくてよくなる
- 4)事故の際は著しく混雑するので、遅れられない時は国道6号は使えない
- 5)事故や故障車があると逃げ場がなく著しく混雑するので困る
- 6)事故があると通行止めや片側通行となり影響が大きく、所用時間にも不安があるため、余裕を持った設計として欲しい

3. 走行性

- 1)走りやすく、右折しやすい道になるとよい
- 2)遅い車が前に走っていると渋滞してしまう
- 3)歩行者・自転車走行しやすくなることを期待している
- 4)信号交差点が少ない道路として欲しい

4. アクセシビリティ

- 1)空港へのアクセシビリティが高まることを期待している
- 2)東側地域や北側地域、東京方面などの周辺地域へのアクセスが改善されることを期待している
- 3)渋滞が解消され、病院・買物等へのアクセスが改善されるとよい
- 4)工業団地へのアクセスが良くなるとうい

5. ネットワーク

- 1)関連する道路の混雑も解消されることを期待している
- 2)国道6号に集中する交通が分散されることを期待している
- 3)国道6号と交差する東西方向の道路など、関連する道路の整備も期待している
- 4)迂回していた交通が再び国道6号に戻り、かえって混雑させてしまうのではないかと心配だ
- 5)小美玉道路ができると関連する道路がかえって混雑するのではないかと心配だ

6. 安全性

- 1)渋滞が緩和されることで交通事故が減少するとよい
- 2)交通量や速度が増加することで、かえって交通事故が増えるのではないかと心配だ
- 3)歩きやすさや自転車での安全な走行ができるようになることを期待している
- 4)大型車が多く道幅も狭いので、安全になることを期待している
- 5)安全に右左折できるようにして欲しい
- 6)国道6号の裏道として利用されている道路の安全性が向上することを期待している

7. 物流

- 1)物流が改善することを期待している
- 2)地域の発展にとって物流の効率性は重要だ

8. 環境

- 1)住宅地の生活環境に配慮して欲しい
- 2)自然環境への影響が心配だ
- 3)道路からの景観にも配慮して欲しい

9. 地域資源

- 1)営農環境に配慮して欲しい
- 2)道路を跨いで田んぼに行くための農作業用の通路を確保して欲しい
- 3)文化財に配慮して欲しい
- 4)幼稚園や保育園に配慮して欲しい

10. 地域活性化

- 1)小美玉道路の整備を契機として地域が発展することを期待している
- 2)沿線に新たな集客施設や地域に貢献する施設が立地して賑わいを期待している
- 3)バイパスを整備すると、バイパス沿道ばかりが賑わい、国道6号現道の沿道が寂れるのではないかと心配だ
- 4)新規道路の沿線の土地利用促進を期待している一方で、地域コミュニティの分断が心配だ
- 5)バイパスの沿道は、旧道の店舗にとっての出店機会となることを期待している
- 6)バイパスを整備しても沿道に店舗が立地せず、経済が活性化しないことが心配だ
- 7)バイパスの場合は、国道6号現道を生活道路とするなど、新たな機能の検討をして欲しい
- 8)国道6号現道を拡幅すると沿道の店舗への影響が心配だ
- 9)沿線の開発は、コンパクトシティなどまちづくりとの連携に配慮して欲しい
- 10)沿道との高低差、出入りに配慮して欲しい

11. 防災

- 1)水災害時の浸水リスクや地盤の状況等を踏まえて計画して欲しい
- 2)災害時の避難所へのアクセスや緊急物資輸送に役立つ道路になることを期待している

12. 医療連携

- 1)救急車など緊急車両の円滑な通行を期待している
- 2)病院や救急搬送用のヘリポートに救急車が早く行けるようになることを期待している

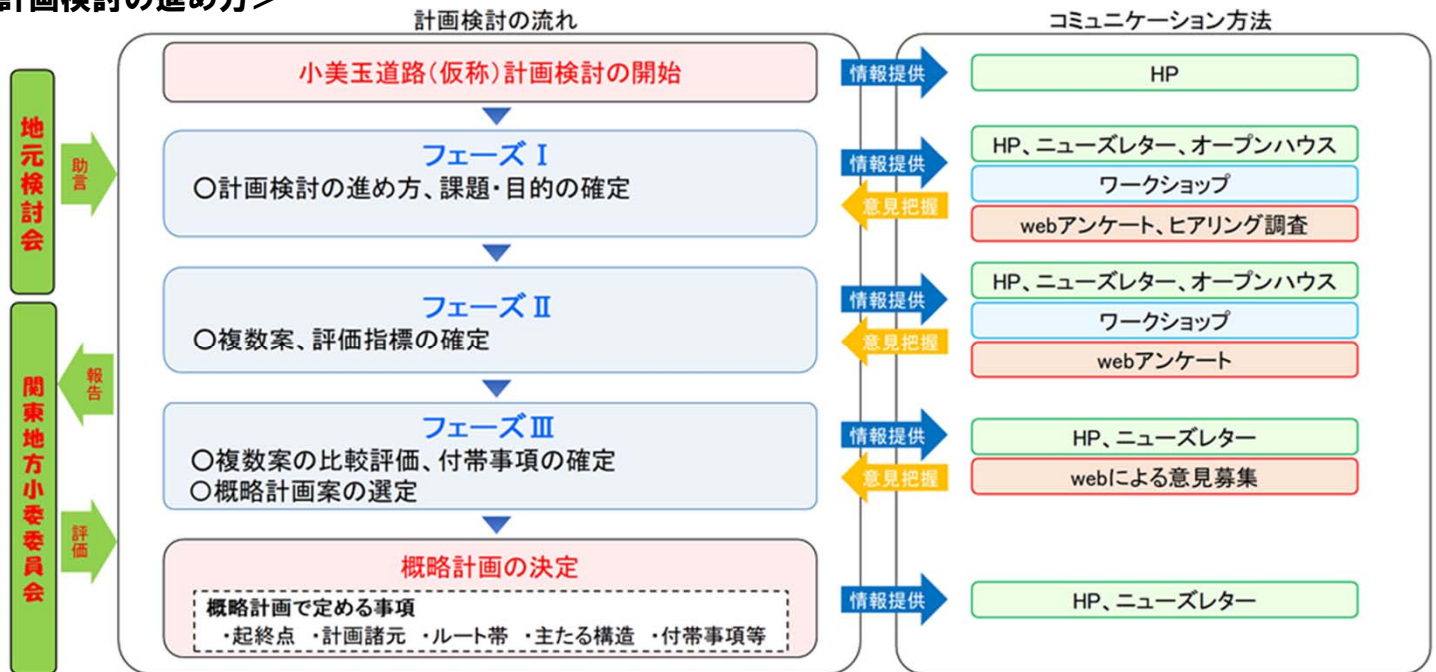
13. 考慮すべきその他の視点

- 1)案内標識を分かりやすくして欲しい
- 2)維持管理に配慮して欲しい
- 3)走行しやすくなるよう、舗装にも配慮して欲しい
- 4)バイパスを整備する場合、新道と旧道の区別が付きやすいよう名称等を工夫して欲しい
- 5)バス停の位置など、公共交通利用者に配慮して欲しい

計画検討の進め方

- ◆ 計画検討の最終目的は国道6号小美玉道路(仮称)の概略計画(※)の基礎となる概略計画案を策定することです。(※) 概略計画…起終点やルート帯(数百メートル程度の幅を持ち、道路用地境界を定めない)、付帯事項などを定める計画
- ◆ 概略計画案の策定に向け、下図に示す通り、フェーズ I、II、IIIと段階を分けて検討し、その節目ごとに検討成果を順次確定・報告することが確定しました。

<計画検討の進め方>



小美玉道路(仮称)の課題・目的

- ◆ 整理した「意見要旨」を受けて、当初想定していた「課題・目的」を見直し、最終的に国道6号小美玉道路(仮称)の「課題・目的」は以下の11と確定しました。

<(参考)フェーズ I のコミュニケーションでお示しした課題・目的>

- 交通渋滞 物流 空港アクセス 交通事故 防災 医療連携 環境・まちづくり

<当初から捉えていた課題・目的>

1. 交通渋滞

国道6号や関連道路網の渋滞を緩和して、移動の信頼性を高めるとともに、走行性を向上させる

2. 物流

工業団地等の拠点へのアクセス性を高め、物流機能を向上することで、地域産業を下支えする

3. 空港アクセス

茨城空港へのアクセス性を高めることで、地域産業を下支えする

4. 交通事故

交通集中に起因する事故を削減し、歩行者自転車も含めた沿道地域の安全性を向上させる

5. 防災

災害時において緊急車両の走行、避難及び緊急物資輸送が更に円滑に行えるように、走行性を向上させる

6. 医療連携

水戸や土浦の高次医療施設への緊急搬送が更に円滑に行えるように、走行性を向上させる

<「環境・まちづくり」を細分化し新たに追加された課題・目的>

7. 生活環境

交通集中に起因する排気ガス、騒音・振動等の影響を削減し、沿道地域の生活環境の改善を図る

8. 自然・歴史・文化

周辺地域に残る自然環境や点在する歴史文化資源を保全する

9. まちづくり

周辺地域における商工業の振興の契機とするとともに、既存市街地におけるコミュニティの賑わいを下支えする

<新たに追加された課題・目的>

10. 営農環境

主要産業である農業の営みを守り育てよう営農環境に配慮する

11. 効果発現

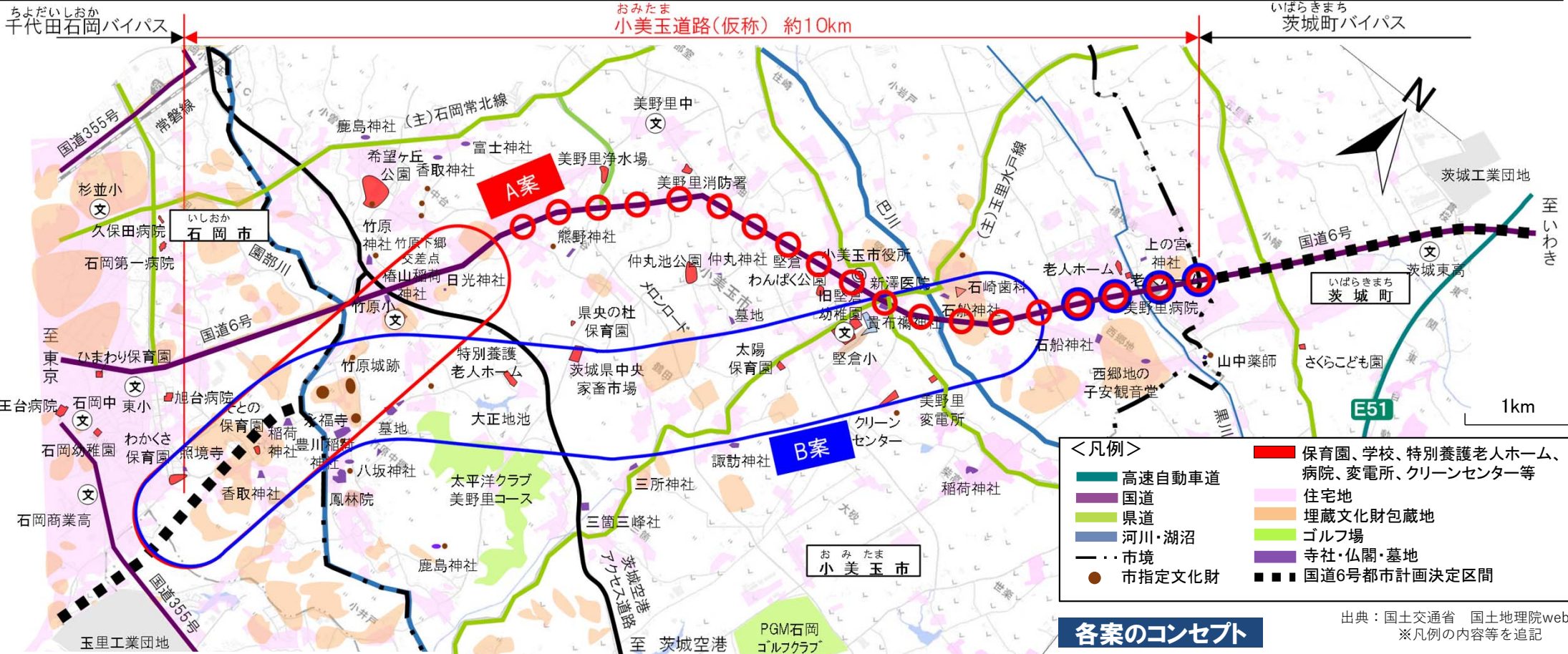
国道6号の渋滞解消を急ぐとともに、実施する解決策の効率性や経済性に十分配慮する

小美玉道路(仮称)の複数案についてどう思われますか？

お聞きしたいこと

- ◆小美玉道路（仮称）のルート帯・主たる構造※について、みなさまからのご意見を踏まえ、以下の2案を設定しました。
- ◆各案についてのご意見をお聞かせください。

※ルート帯・主たる構造は、フェーズ1で確定した課題・目的に基づき、それぞれの案のコンセプトにて、概ね通過する位置や主たる構造を設定し、意見をお聞きするためにお示しした案であり、**確定したものではありません。**



<凡例>	
	保育園、学校、特別養護老人ホーム、病院、変電所、クリーンセンター等
	高速自動車道
	国道
	県道
	河川・湖沼
	市境
	市指定文化財
	住宅地
	埋蔵文化財包蔵地
	ゴルフ場
	寺社・仏閣・墓地
	国道6号都市計画決定区間

出典：国土交通省 国土地理院web
※凡例の内容等を追記

各案のコンセプト		
ルート帯	【A案】現道拡幅(一部バイパス)案	【B案】バイパス(一部現道拡幅)案
主たる構造	平面構造	盛土(切土)構造
コンセプト	国道6号の現道を有効に活用した4車線化により交通容量を増やし、安全で円滑な交通を図る案	国道6号の現道とは別のバイパス整備により交通容量を増やし、なるべく起終点を最短となるルートで交差点を少なくし、安全で円滑な交通を図る案

標準断面(案): A案

単位: m

5.00 1.25 7.00 1.75 7.00 1.25 5.00

- ・現在の2車線道路を両側に広げる案
- ・中央分離帯により上下線は分離されるが、沿道から道路に直接出入りが可能。

標準断面(案): B案

単位: m

5.00 1.25 7.00 1.75 7.00 1.25 5.00

- ・沿道の土地から5~10m高く(もしくは低く)整備する案
- ・中央分離帯により上下線は分離される。
- ・沿道の土地との高低差があるため、沿道から道路への直接出入りは制限される。沿道からの出入りは、側道及び立交差点を介して出入りが可能。

5 複数案の比較には何を重視しますか？

お聞きしたいこと

◆パネル④でお示したA案、B案※を比較するために、みなさまからいただいたご意見を踏まえ、評価指標(案)※として16指標(①～⑯)を設定しました。

◆評価指標(案)についてのご意見をお聞かせください。 ※A案B案、評価指標(案)は、最終決定したものではありません。みなさまのご意見を踏まえて修正される可能性があります。

ご意見ください

比較評価(素案)はフェーズⅢで検討するものであり、ここでは参考としてお示しします。なお、記載内容は、仮に、国道6号小美玉道路(仮称)の複数案が図の2案となり、評価指標(案)が表中のものとなった場合の想定です。

課題・目的	評価指標(案)	比較評価(素案) (参考提示)	
		A案	B案
1.交通渋滞	①平均速度の向上	・国道6号現道の4車線化により、平均速度が向上するものの、平面交差点が多く残るため、効果はバイパス案より小さい	・交差点を立体化したバイパスにより、平均速度が向上し、その効果は現道拡幅案より大きい
	②事故・駐停車車両による影響の低減	・4車線化された国道6号現道を利用することにより、事故・駐停車車両による影響が低減できる	・バイパスを利用することにより、事故・駐停車車両による影響が低減できる
	③当該箇所の国道6号現道や周辺道路の交通量	・国道6号現道を4車線化することで、周辺道路から国道6号現道に交通が転換し、周辺道路の交通量が減少する	・国道6号現道や周辺道路を利用していた大型車等の通過交通がバイパスを利用することにより、国道6号現道や周辺道路の交通量が減少する
2.物流	④都心方面および水戸方面から工業団地までのアクセス時間の短縮	・物流関連車両が4車線化された国道6号現道を利用することにより、茨城工業団地、玉里工業団地等へのアクセス性が向上するものの、効果はバイパス案より小さい	・物流関連車両がバイパスを利用することにより、茨城工業団地、玉里工業団地等へのアクセス性が向上、効果は現道拡幅案より大きい
3.空港アクセス	⑤都心方面および水戸方面から茨城空港までのアクセス時間の短縮	・4車線化された国道6号現道を利用することにより、茨城空港へのアクセス性が向上する	・バイパスを利用することにより、茨城空港へのアクセス性が現道拡幅案よりも向上する
4.交通事故	⑥当該箇所の国道6号現道や周辺道路の交通事故の減少	・国道6号現道の4車線化に伴う中央分離帯設置により、右折車が制限され追突事故が減少	・バイパスを利用することにより、国道6号現道の交通量減少により、国道6号現道の交通事故が減少
5.防災	⑦緊急輸送道路としての機能の確保	・国道6号現道の4車線化により、緊急輸送道路としての機能が強化	・国道6号現道や常磐道の代替路として機能し、災害時や既存道路の通行止め時などにおいても円滑な交通を確保可能
6.医療連携	⑧水戸市や土浦市に位置する第3次救急医療施設への搬送時間短縮	・4車線化された国道6号現道を利用することにより、水戸医療センター、土浦協同病院への搬送時間が短縮する	・バイパスを利用することにより、水戸医療センター、土浦協同病院への搬送時間が短縮する
7.生活環境	⑨排気ガス、騒音・振動などの沿道環境への影響	・道路網が拡がり、地域全体の交通流動が改善されるが、国道6号現道の交通量の増加による沿道の方々の生活環境への影響(排気ガス、騒音・振動)がバイパス案より大きい	・道路網が拡がり、地域全体の交通流動が改善されるが、住宅密集地から離れるため、沿道の方々の生活環境への影響(排気ガス、騒音・振動)は現道拡幅案より小さい
8.自然・歴史・文化	⑩自然環境や歴史文化資源への影響	・現道拡幅区間が主体のため、用地や地形変化がバイパス案より小さい	・バイパス整備区間が長い間、用地や地形変化が現道拡幅案より大きい
9.まちづくり	⑪国道6号現道やバイパス周辺の施設への影響	・国道6号現道の沿道施設への直接アクセスが可能である	・バイパス(盛土構造)のため、バイパスの沿道施設への直接アクセスが制限される
	⑫国道6号現道やバイパス周辺の土地利用への影響	・現道拡幅区間は、店舗等の沿道施設の土地利用への影響はバイパス案より大きい	・店舗等の沿道施設が少ない区間であるため、既存の沿道施設の土地利用への影響は現道拡幅案より小さい
	⑬集落、学校(保育園、幼稚園含む)等の地域コミュニティへの影響	・現道拡幅により、国道6号現道の横断や反対側の地域との交流がしづらくなる等の地域コミュニティへの影響がある	・バイパス整備により、新たな地域分断が生じるため、既存の地域コミュニティへの影響がある
10.営農環境	⑭圃場整備地等、配慮すべき資源等の影響	・現道拡幅区間の用地や地形の改変面積はバイパス案より小さい	・全線盛土構造を基本とするため、用地や地形改変が現道拡幅案より大きい
11.効果発現	⑮事業期間	・国道6号現道の4車線化施工時に、現道の切り直し、沿道建物への出入りの確保等が必要のため、バイパス案より事業期間が長い	・バイパスの施工時に、交通規制等がほとんど必要ないため、現道拡幅案より事業期間が短い
	⑯事業費	約800～900億円	約700～800億円

6

情報発信サイトを開設しています

- ◆『小美玉道路（仮称）の計画検討』に関する情報をお知らせする専用のポータルサイトが、国土交通省HP内に開設されています。
- ◆計画の進捗や検討会の実施状況など、詳細な情報を掲載しています。

ポータルサイト：
<https://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/hitachi00917.html>

小美玉道路 ポータルサイト

検索

ポータルサイトはこちらから



常陸河川国道事務所

Hitachi River and National Highway Office

常陸河川国道事務所ホーム > 道路 > 事業紹介 > 国道6号小美玉道路（仮称）ポータルサイト

道路

事業紹介

国道6号小美玉道路（仮称）ポータルサイト

トップページ

防災・災害

河川

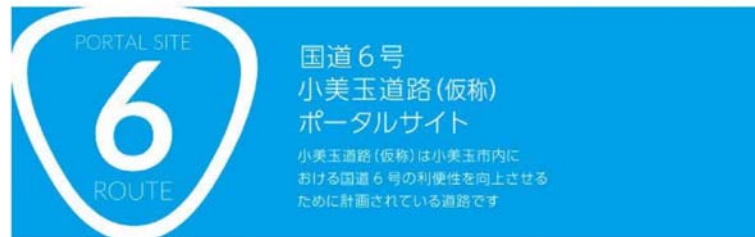
道路

国道6号

国道50号

国道51号

事業紹介



国道6号小美玉道路（仮称）についての最新情報を提供する特設ページを開設しました。計画の概要や地域の状況、コミュニケーション、ニュースレターなどを順次掲載していきますので、是非ご覧ください。

◆小美玉道路の概要

◆地域の状況

◆計画検討の進め方

◆コミュニケーション（オープンハウス・ワークショップ・webアンケート）

◆ニュースレター

◆国道6号小美玉道路検討会

◆計画検討の結果（フェーズ1）



小美玉道路の概要



地域の状況



計画検討の進め方



ニュースレター



国道6号小美玉道路
検討会



計画検討の結果
（フェーズ1）

アンケートにご協力ください

- ◆地域のみなさまから広くご意見をお聞きするため、Webアンケートを実施しています。
- ◆右の二次元バーコードからアクセスしてください（ポータルサイト（上記）からもアクセスできます）。

意見募集時期：

令和3年12月23日（木）～令和4年2月27日（日）

Webアンケートサイト：

https://jp.surveymonkey.com/r/omitama_2

後日のご意見等は
Webアンケートにお願いします。

